

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	秋田県北秋田市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	北秋田市の文化遺産総合活用推進計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
北秋田市歴史文化基本構想（平成23年作成、平成27年改訂）を踏まえ、北秋田市の文化遺産を活用しながら発信・地域の活性化・観光振興などへの取り組みを推進するため、下記の取り組みを実施する。			
6 実施体制			
本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 主な担当課：役割 ・教育委員会生涯学習課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 ・都市計画課・農林課：景観保護等に関する連携等 ・商工観光課：観光業務に関する連携等 また、北秋田市文化遺産保存活用実行委員会（委員長：木村正彦）が各事業を実施する。 ⇒構成団体 北秋田市文化財保護団体連絡協議会、鷹巣地方史研究会、合川地方史研究会、合川文化財保護協会、秋田県文化財保護協会阿仁支部、北秋田市芸術文化協会、阿仁合駅周辺活性化実行委員会、合川駅前地域活性化協議会、森吉歴史研究会、おさるべ元気くらぶ、北秋田市阿仁猟友会、各民俗芸能団体 その他地域街づくり団体等随時参加、北秋田市教育委員会			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 1,248 千円	平成31年度申請額： 1,093 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
本計画を実施することにより、市民の文化遺産に関する関心や意識を向上するための普及啓発と、次世代への確実な継承へと繋げることができる。 また、文化財保護団体やまちづくり団体、行政が連携・協力しながら広く文化遺産を整備、保存、活用していくことで、文化遺産を地域の活性化や新たな観光客の増加が期待できる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
歴史文化基本構想は平成23年に策定済みである。 歴史的風致維持向上計画については、歴史文化基本構想にもその計画策定を目指すとして記載しているが、当面は策定に向けた体制作り・調整を行っていく。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	北秋田市教育委員会生涯学習課（文化係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化財を訪れた入込客数			関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 4,100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 4,266 人					
設定根拠 1 :	平成28年度の北秋田市観光入込客数の伸び率100.9%を参考として伸び率1.01倍と設定					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
4,141 人	3,634 人	人	人	人	人	
25%	-281%					
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	保存会会員数の変化 (維持)			関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 16 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 人					
設定根拠 2 :	保存会等の活動により年 1 名程度の新規加入を設定					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	19 人	人	人	人	人	
	75%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	文化遺産案内板等設置事業					実施団体：	北秋田市文化遺産保存活用実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	北秋田市地内にある文化遺産のうち、地域振興や観光振興に資するものに対し、案内板等を設置し、多言語版としても整備する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	案内板等を設置した文化遺産を訪れた入込客数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 4,100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 4,266 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
4,141 人	人	人	人	人	人						
25%											
事業②：	旧長岐家住宅に関する古文書等報告事業					実施団体：	おさるべ元気くらぶ				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	地域の肝煎であった旧長岐家住宅に保存されていた古文書調査の内容から、その歴史や地域との関わり、時代背景等を旧長岐家住宅を活用しながら学ぶ。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	保存会（おさるべ元気くらぶ）への新規入会者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
1 人	3 人	人	人	人	人						
0%	50%										
事業③：	旧長岐家住宅一般公開					実施団体：	おさるべ元気くらぶ				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	地域の肝煎であった旧長岐家住宅を市民に公開し、広く文化財の周知を図る。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	保存会（おさるべ元気くらぶ）への新規入会者数										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	3 人	人	人	人	人						
	50%										

事業④：	きのみやさままつりと旧長岐家住宅勉強会				実施団体：	おさるべ元気くらぶ	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	旧長岐家住宅の敷地内に祀られている火伏の神「きのみやさま」や旧長岐家住宅に伝わる文化財等について講師を招き勉強会を行う。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保存会（おさるべ元気くらぶ）への新規入会者数						
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	3 人	人	人	人	人		
	50%						
事業⑤：	旧長岐家住宅と小猿部地域の文化を学ぶ				実施団体：	おさるべ元気くらぶ	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	旧長岐家住宅がある地域である小猿部地域の文化と肝煎であった旧長岐家住宅との関わりや時代背景を講師を招き学ぶ。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保存会（おさるべ元気くらぶ）への新規入会者数						
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	3 人	人	人	人	人		
	50%						
事業⑥：	伝統文化継続のための映像記録会				実施団体：	おさるべ元気くらぶ	
事業区分：	記録作成				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	約250年前の江戸時代から続く七日市葛黒集落の「葛黒火まつりかまくら」は、燃え盛る大木に向かい「おーい、かまくらのごんごろー！」と叫び、無病息災や五穀豊穡を祈願する伝統の小正月行事であり、平成10年から15年間途絶えていたが平成26年に復活した。この伝統文化を継承するため、行事の様子を映像に記録し、併せて情報発信を行う。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保存会（おさるべ元気くらぶ）の会員数						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 15 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	19 人	人	人	人	人		
	80%						